



2017. 6. 11 (日) 10:30~15:00
 神戸YWCA会館
 人と地球にやさしいファッションを。

神戸YWCA エシカルファッションフェスティバル ありがとうございました！

エシカルファッションブース (3・4F)

(特活) アジア女性自立プロジェクト (AWEP)
 シサムコウボウ
 正東貿易
 株式会社ナースあい
 (公財) PHD 協会
 Petit Pinceau (プチパンソー)
 NPO 法人 FREEHELP
 メダカ工房
 ランパラハウスプラス



フリマブース (5F)

神戸YWCA カフェもぐもぐ
 京都YWCA
 神戸フリースクール
 SORO
 手作部屋 Pallete & Labo
 被災地 NGO 協働センター
 その他個人出店 2 組



手しごひウメコ ワークショップ (3F)

はぎれ布に刺繍やアクセント
 を加えてブローチをつくる
 ワークショップ。



こうべYかふえ (1F)

ドライカレー、ミネストローネとパン、タンポポコーヒー
 (ノンカフェイン)、コーヒー、紅茶、神戸YWCA 分室の
 パウンドケーキ、ビスコッティ。

*パンは「ラ・ドルチェ・ヴィータ」、
 野菜は「いちじま丹波太郎」から。
 株式会社上野商店のわらび餅風こんにやく
 「神戸べっぴんものがたり」や
 ポップコーンも販売。



ファッションショー (5F)

神戸ファッション専門学校、NPO
 法人 FREEHELP のご協力による
 メインのファッションショー。



いろんな衣装を着てみよう！ (5F)

ウェディングドレスや変わったドレス、不思議な
 でっかい帽子、韓国、インド等世界の民族衣装な
 ど、普段は着られないような衣装を着て、フォト
 ブースで写真撮影。専門学校生によるストール
 巻き巻きミニワークショップも。

飛び入り参加大歓迎の
 ファッションショーに
 は、「着てみよう」ブ
 ースの衣装などを着た
 みなさんが出演。出
 店者も商品のアピール！



Happy をもらえた エシカルファッションフェスティバル

6/11 に神戸 YWCA さんで開催されたエシカルファッションフェスティバル、女性が生きることにつながる「ファッション」をキーワードに、「いつものわたし +α」になれるとても楽しいイベントでした。

正東貿易はブルキナファソのマルシェで出会ったパーニュ(布)を使ったまんまるアクセサリ、同じくブルキナファソで主に身体に障がいを持つ女性たちの人権に関する活動のほか、HIV 予防啓発もされている団体の方々によっていただいたリボン、そしてカンボジアのバナナペーパーやバッグなどをご紹介させていただきました。イベントスタートと同時にたくさんの方々にお買いものしていただき = たくさんの方々とお話でき、とても嬉しかったです！

これはこんな国でこんな人が ... と、使ってもらうヒトにコトをお伝えするのが私の仕事なので、こんなにたくさんの方とつながって、笑顔になれるとほんとうにしあわせです。出店した私も おもいきり楽しめたイベントでした～♪

プラス！私のニコニコがとまらなかった理由。「こうべ Y かふえ」さんの手づくりごはんがとっても美味しかったのです～。ブースに書き置きを残し、11 時のオープンと同時にカフェへ直行。ドライカレーがあまりに美味しくて、うっかりおかわりしそうになりました。キッチンから「どうですかー？」という

声に、モグモグしながら「美味しいですー！」と言うと「よかった、昨日がんばって野菜刻んだかいがあったあ～。」自然に会話がうまれる場所って、しあわせです。

「いつもとちがうわたし」になってランウェイを歩くファッションショーのメインは、神戸ファッション専門学校生によるリメイクコーディネートで大変身したモデルのみなさんです。着なくなったアオザイ、着物、でも思い出はたくさん。そんな素材が学生さんたちによっておしゃれにカタチをかえ、再び楽しんで着ることができるように。ウェディングドレスの登場にはみなさんの歓声もひととき大きくなり私も大興奮でした！ドレスを提供された元の持ち主さまとっても嬉しそう。この機会にと、いろんな国の民族衣装を身にまといランウェイを歩かれた方々も、「なんだかいつもとは違う私みたいです」と、素敵な笑顔でした。

YWCA のみなさま、ボランティアの方々、そして参加したみんなで楽しかったエシカルファッションフェスティバル。こういう素敵な時間を過ごせる機会にどうかこれからもどんどん巡り会えますように。ありがとうございました。

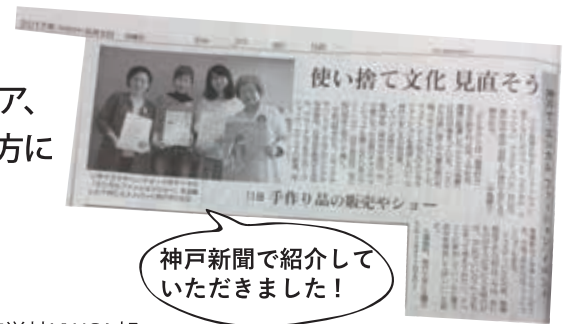
(正東貿易・成田 佑美)

フェアトレードで繋がるしあわせの SHOTO Blog
(<http://shoto-kobe.jugem.jp/?eid=149>) より抜粋転載

来場者 175 人
出店数 16 店
収支差額
112,385 円(6/12現在)
神戸YWCA学院日本語コース
「勉強に役立つ日本語」への
寄付収入
33,400 円

フェスティバルの運営にご協力いただいた
以下の団体等をはじめ、出店者、ボランティア、
物品寄贈などにご協力くださったすべての方に
感謝いたします。

神戸ファッション専門学校、NPO法人FREEHELP、
株式会社上野商店、三中恵津子、全美玉、
La Dolce Vita～atelier yumie～、啓明学院中学校・高等学校YWCA部



脱原発ハンガーストライキ

～子どもたちの、子どもたちの、子どもたちのために～

昨日、神戸 YWCA 主催の「エシカルファッションフェスティバル」に参加させてもらいました。“エシカル”と聞いて、恥ずかしながら私は最初意味がわかりませんでした。調べてみると、“エシカル”とは「倫理的」「道徳上」という意味で、「環境保全や社会貢献」という意味で地球にやさしい、人にやさしいとも言い換えられます。この日も、普段はなんとなく流れていく生活のなかで、少し立ち止まって考えてみたり、ていねいな生き方について考えてみる一日となりました。

参加団体には、リサイクルショップ、フェアトレードを扱うお店、障害者が作った商品、介助・介護しやすいデザインにこだわった服など、たくさんの方の付加価値のある商品が所狭しと並べられていました。一つの商品には、作り手の思い、捨てられそうになった服がリメイクにより生まれ変わり、手作りにこだわった作品などたくさんの想いが込められていました。

現代社会は、大量生産・大量消費・大量廃棄が当たり前の世の中で、モノを大切にしないで、飽きたら捨てる、破けたらまた新しいものを買うの繰り返しで、気がつくとも私自身もそんな社会に流されていることがあります。

阪神・淡路大震災でも、東日本大震災でも、そのようなライフスタイルの在り方があらためて見直されました。津波直後まだライフラインもままならない時に、現地に行きました。そのとき、当センター(被災地 NGO 協働センター)のまけないぞうを作ってもらうために、裁縫箱を提供して頂き被災者の方へ配布しました。その時に針と糸をみて「2 週間ぶりに針が持てる」と大変喜ばれました。そのあと、私は驚かされました。ある女性が「これで救援物資で頂いた服の裾をあげられるわ」と。後日行ったときにはそれだけではなく、救援物資の男性用の大きな長袖シャツが割烹着にリメイクされていました。私はとても驚いたのと同時に、こうして物を大切にしている姿勢に、自分の生活を振り返り反省させられました。東北の人たちは本当にものを大切にします。このハンストのテーマになっているインディアン人の居留地に住むイロコイ族が「いまのこの地球は未来からの借り物、7 世代先のことを考えて生きる」といった言葉の意味をあらためて感じた一日でした。

(被災地 NGO 協働センター・増島 智子)

脱原発ハンストを実行する有志のブログ
(<http://blog.canpan.info/stopnps/daily/201706/12>) より転載

出店料を含めたフェスの売上はフェスの運営に関わる費用と神戸YWCAの社会貢献活動に用います。なお、NPO法人FREEHELP(全額)、株式会社上野商店(一部)、ポップコーン(全額)の売上は、神戸YWCA学院日本語コース「勉強に役立つ日本語」プログラムに寄付いただきました。

神戸 YWCA フェスプロジェクト

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp



↑ Facebook アルバムで
写真をチェック!

YWCA (ワイ・ダブリュー・シー・エー
(Young Women's Christian Association)) は
キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を
越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康
や環境が守られる平和な世界を実現する国際 NGO です。